

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **企画文化局**

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根つき_誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	スポーツの振興

担当局 / 総務担当課名	企画文化局	企画課
連絡先	582 - 2153	

21年度計画

-2-(3)-

施策名 **誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市民が生涯にわたり、気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進めるため、高齢者スポーツや障害者スポーツなどの振興、さまざまなスポーツに親しめる総合型地域スポーツクラブの育成、市民参加型のスポーツイベント・大会の開催などに取り組みます。また、シティマラソンの開催の可能性を検討します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	スポーツの振興

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度	目標値	
	年度	平成20年度			年度	次期スポーツ振興計画で目標設定
週1回以上定期的にスポーツを実施している市民(成人)の割合					年度	
次期スポーツ振興計画(平成23年度~)で目標を設定する予定です。	現状値	52.5%	実績		目標値	
			達成度	%		
主な市民参加型スポーツイベントの参加者数	年度	平成21年度	計画	63,000 人	年度	平成25年度
市民参加型のスポーツイベントを開催し、多くの市民に参加してもらうことで、市民のスポーツに対する興味・関心を高め、生涯にわたってスポーツに取り組み、健康で充実した生活を送ろうとする心構えを作ることができるため指標としました。	現状値	62,746人	実績	62,746 人	目標値	70,000人
			達成度	100.0 %		
市立スポーツ施設の利用者数	年度	平成21年度	計画	2,811,317 人	年度	平成25年度
より快適で利用しやすいスポーツ施設を整備することで、市民のスポーツニーズを満たすことができるため指標としました。	現状値	2,811,317人	実績	2,811,317 人	目標値	3,000,000人
			達成度	100.0 %		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]		事業費	26,816 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
			うち一般財源	25,766 千円	25,950 千円	

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	B	小学生低学年や未就学児に特化したスポーツ教室の実施にあたって、食育教室を実施するなど事業内容の充実が図られました。また、レトロマラソンの参加者数が過去最高となるなど、施策を構成する4事業が目標達成に向けて実施・開催されています。 「有効性」や「適時性」など十分に満足できる効果が得られなかった項目については、見直しの検討を行います。
今後の局施策の方向性	施策を構成する各事業は、実施課において一定以上の成果を挙げていると評価をしており、施策の実現に有効であると考えられます。しかし、昨今の厳しい財政状況等を踏まえ、現行の方法をそのまま継続するのではなく、今後は、関係局や関係団体との連携を深めるなど、より効率的な実施を検討することが課題となります。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。

施策名 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性		
	C時点[21年度:執行額]					21年度	21年度	
北九っ子！パワーアップ大作戦事業			7,793 千円	3,150 千円	裁量的経費			ア
事業費のうち一般財源			6,743 千円					
市民参加型スポーツイベントの開催			11,299 千円	17,550 千円	裁量的経費			ア
事業費のうち一般財源			11,299 千円					
地域スポーツ振興事業			3,984 千円	1,500 千円	裁量経費			ウ
事業費のうち一般財源			3,984 千円					
総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業			3,740 千円	3,750 千円	裁量的経費			ウ
事業費のうち一般財源			3,740 千円					
事業費のうち一般財源								
事業費のうち一般財源								
事業費のうち一般財源								
事業費のうち一般財源								
事業費のうち一般財源								
事業費のうち一般財源								

局施策全体のコスト	21年度	
	事業費	人件費(目安)
	26,816 千円	25,950 千円
施策全体の事業費のうち一般財源	25,766 千円	

局施策の
21年度評価

B

【局施策評価】
A: 大変良い状況にある
B: 概ね良い状況にある
C: 概ね良い状況とまでは言えない
D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	企画文化局	スポーツ振興課
連絡先	582-2395	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根つき誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	スポーツの振興
	主要施策	誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり

関連計画	北九州市スポーツ振興計画
事業期間	平成13年度～未定
経費区分	裁量的経費

-2-(3)-

事業名	北九っ子！パワーアップ大作戦事業
-----	------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	全国体力・運動能力等調査において、全体的には向上傾向ではあるものの、本市の小・中学生の平均は多くの種目で全国平均を下回りました。その原因として、子どもたちが活動する場所や機会の減少、保護者の運動・健康の重要性の認識不足などがあげられます。また小学校高学年から、運動する子としない子が二極化する傾向があります。以上の点を課題としてとらえ、子どもたちが早期から運動に親しむ習慣を身につけるきっかけづくりと保護者への啓発に重点をおいて事業を展開し、子どもの体力向上を図るものです。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		当初計画	全国平均同等以上 34種目	全国平均同等以上 34種目	全国平均同等以上 34種目	全国平均同等以上 34種目		全国平均同等以上 34種目	全国平均同等以上 34種目
実施状況	現状	全国平均同等以上 10種目	全国平均同等以上 34種目	全国平均同等以上 34種目	全国平均同等以上 34種目	全国平均同等以上 34種目			
	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]	全国体力・運動能力調査結果の市平均向上				計画	34 種目	年度	平成27年度
		毎年小5、中2で実施される全国体力・運動能力等調査で、本市の小・中学生の平均値が、全種目で全国平均値と同等値以上となるようにしていきます。				実績	10 種目	内容	34種目
						達成度	29.4 %		
						計画		年度	
単年度計画						実績		内容	
						達成度	%		
事業費						事業費	7,793 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
						うち一般財源	6,743 千円	3,150 千円	

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	21年度は、未就学児段階から運動の習慣や保護者への啓発の必要性を重視して、小学生低学年や未就学児に特化したスポーツ教室を実施しました。各区ごとに1クール10回を前後期の2回行い、合計460人の小学生が参加しました。また、体力と栄養は切り離して考えられないので、教室の中で食育教室を実施しました。特に未就学児対象の事業では、アンケート結果から多くの参加者に喜ばれていたようです。市内各施設、幼稚園を使って行い、年間7回、1回で20組定員の教室に合計111組229名が参加しました。
------	-------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	小学生を対象にした事業では、多くのリピーターがいることから、運動に対する関心が高まってきていると思われます。その一方で、施設や予算の関係で一回の教室で実施できる募集人数に制限があるので、より多くの児童・生徒を対象にできれば、効果はさらに高まると思われます。	
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4:高い 3:やや高い	4	各事業とも、十分な経験を持つ指導者をお願いしており、人数の上でも充実しています。実施場所も市のスポーツ施設や学校・幼稚園などを利用していますので、低コストで有効な教室が実施できています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2:やや低い 1:低い	3	スポーツ少年団等に加入していない子どもたちは、運動の楽しさを十分に体験したことがないので、この事業に参加することで、自分の得意・不得意を理解し、運動に取り組もうとする姿勢が出てくると思われます。運動する子としない子の二極化減少を減らすためには、効果があると考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。		4	広く市民に広報し、市内のスポーツ施設を利用し、学校へも呼びかけすることから、市の関与が必要不可欠です。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	子どもの体力向上の目安としている平均値を上げるためには、運動に取り組んでいない子どもたちに、いかに効果的に運動の意義を伝え、運動習慣を身につけさせるかがポイントになります。しかし実際は、やはり高学年になればなるほど教室参加が少なくなっています。いかに運動をしない子や運動嫌いな子どもたちとその保護者にアプローチをしていくか、また、より多くの市民に事業に参加してもらうのかを検討する必要があります。今後も学校や他局との連携を図りながら、見直しをしていくこととします。	

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	企画文化局	スポーツ振興課
連絡先	582-2395	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根つき、誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	スポーツの振興
	主要施策	誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり

関連計画	北九州市スポーツ振興計画
事業期間	昭和38年～未定
経費区分	裁量の経費

-2-(3)-

事業名	市民参加型スポーツイベントの開催
-----	------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市内各所では多くの市民がスポーツに取り組んでいます。そして、活動の成果を確認したり、同じ競技をしている人たちと交流したりすることを求めています。市民参加型のスポーツイベントを開催し、多くの市民に参加してもらうことで、市民のスポーツに対する興味・関心を高め、生涯にわたってスポーツに取り組む、健康で充実した生活を送ろうとする心構えを作ることができます。				
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり		成果	主な市民参加型スポーツイベントの参加者数

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	合計参加者数 63,000人	合計参加者数 64,000人	合計参加者数 66,000人	合計参加者数 68,000人	合計参加者数 70,000人			
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
		「門司港レトロマラソン」「レディース・スポーツフェスティバル」「市民体育祭」の参加者数						計画	63,000人	年度
		主な市主催スポーツイベントの参加者数が同数、または増加するように、種目や競技方法、アトラクションなどを検証し、より効果的な広報活動についても検討していきます。						実績	62,745人	内容
								達成度	99.6%	70,000人
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度・執行額]						事業費	11,299千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
							うち一般財源	11,299千円	17,550千円	
単年度計画	(この欄は空欄で構いません)									

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	近年のジョギングブームのためか、レトロマラソン参加者(2,966人)は過去最高になりました。他のイベント(市民体育祭 55,124人、レディーススポーツフェスティバル 4,666人)もほぼ同数を維持しています。門司港レトロマラソンは11月29日に実施、レディースは5月に23競技、市民体育祭は6月から3月にかけて71競技を実施しました。
------	-------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業の再検証】

評価	有効性	この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	市民のニーズに応じた種目設定や、参加者が増加している現状を見ると、効果は大であったと思われます。
	経済性・効率性	同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	現状で充実していると考えます。予算の範囲内のできる開会式のアトラクションや参加賞の配布などで、多くの市民に喜ばれています。
	適時性	今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	3	この事業を実施しなかった場合、競技に参加する機会が減り、市民のニーズに答えられなくなるばかりでなく、スポーツによるまちのにぎわいづくり創出へも影響があります。市が主催するには限りがありますが、もっといろいろな方法で、市民がスポーツに触れる機会ができればよいと思われます。
	市の関与の必要性	実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	全市的に行われるイベントであり、広報や競技団体との連携を考えると、市が主体となって開催する必要があります。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ア	多くの市民が参加し、ニーズも高まっている一方で、予算の見直しも行われており、現在開催しているイベントを同様に続けていくべきなのかどうかを検証する必要があります。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	企画文化局	スポーツ振興課
連絡先	582-2395	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根つき、誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	スポーツの振興
	主要施策	誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり

関連計画	北九州市スポーツ振興計画
事業期間	平成3年度～未定
経費区分	裁量経費

-2-(3)-

事業名	地域スポーツ振興事業
-----	------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	各区における地域スポーツの普及振興を図るため、ニュースポーツ(新しく考案されたり、紹介されたスポーツ)用具の整備及び各種交流大会を実施します。また、親子のコミュニケーションを図り、家族単位の地域交流を促進するとともに、地域における地域スポーツの振興を図るため、ファミリースポーツ推進事業を展開します。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	成果	週1回以上定期的にスポーツを実施している市民(成人)の割合 市立スポーツ施設の利用者数

目的実現の為に実施する内容【手段】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由			
		現状	ファミリースポーツ大会等(7区)ニュースポーツの用具、備品整備	ファミリースポーツ大会等(7区)ニュースポーツの用具、備品整備	ファミリースポーツ大会等(7区)ニュースポーツの用具、備品整備	ファミリースポーツ大会等(7区)ニュースポーツの用具、備品整備	ファミリースポーツ大会等(7区)ニュースポーツの用具、備品整備		ファミリースポーツ大会等(7区)ニュースポーツの用具、備品整備		
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)							平成21年度	目標	
		各区におけるニュースポーツおよびファミリースポーツ大会の参加人数						計画	15,000 人	年度	平成25年度
		審判謝礼金、用具代等の大会運営を下支えする経費であるため、大会参加人数を指標とします。						実績	15,000 人	内容	15,000人
								達成度	100.0 %	年度	
	コスト							事業費	3,984 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度) 1,500 千円	
								うち一般財源	3,984 千円		
	単年度計画	(表の対角線あり)							その他、区役所職員の人件費あり		

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	本事業は各区に予算を令達し、地域スポーツの普及振興を図っているもので、各区においてファミリースポーツ大会等の体育行事は93回開催、参加人数は計15,000人に達しました。
------	-------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	区役所で開催されているスポーツ大会やニュースポーツの用具、備品整備に活用されているもので、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりに対する有効性は高いと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	本事業は各区の事業費を予算措置しているものですが、各スポーツ大会が市民にとってニーズの高いものかどうか精査するとともに、実施方法の経済性についても検証します。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりを実現するためには、継続的に本事業を実施していくことが必要と考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	各区で開催する各種スポーツ大会の開催やニュースポーツの用具、備品整備は市が主体的に関与することが必要と考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	本事業は施策に対する有効性も高く、「誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり」を推進していくうえで重要な事業であると考えています。今後も目標の達成に向けて着実な取組みを進めていくことが適当と考えます。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	企画文化局	スポーツ振興課
連絡先	582-2395	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根つき、誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	スポーツの振興
	主要施策	誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり

関連計画	北九州市スポーツ振興計画
事業期間	平成7年度～未定
経費区分	裁量的経費

-2-(3)-

事業名	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業
------------	----------------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	総合型地域スポーツクラブとは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、多世代、多目的、多志向という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのことで、これからの地域スポーツの中核を担う役割を期待されています。本市では、成人の週1回以上のスポーツ実施率を向上するためにも、総合型クラブの果たす役割は大きいと考えており、総合型クラブの会員数拡大を支援してまいります。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	成果	総合型地域スポーツクラブの会員数

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	設立補助金 1団体 連絡協議会の開催 6回 継続的な広報活動	設立補助金 1団体 連絡協議会の開催 6回 継続的な広報活動	設立補助金 1団体 連絡協議会の開催 6回 継続的な広報活動	設立補助金 1団体 連絡協議会の開催 6回 継続的な広報活動	設立補助金 1団体 連絡協議会の開催 6回 継続的な広報活動		連絡協議会の開催 6回 継続的な広報活動	
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
		総合型地域スポーツクラブの会員数						計画	1,380 人	年度
		総合型地域スポーツクラブの会員数を増やすためには、市民にとってクラブへの入会を魅力あるものにする必要があります。広報・PR活動の強化のみではなく、クラブの質の向上を図るため、交流行事や勉強会を定期的に開催し、指導者の充実やクラブを円滑・安定的に運営できる人材の育成等に努めます。						実績	1,380 人	内容
								達成度	100.0 %	1,800人以上
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月(21年度・執行額)						事業費	3,740 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
							うち一般財源	3,740 千円		3,750 千円
単年度計画								上記の人件費の他、広報室など他の関係部署も関わっています。		

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	市のホームページ等の媒体を活用した広報・PR活動のほか、「総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」を通じた交流行事や勉強会などを開催した結果、目標会員数を確保することができました。
------	-------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	本事業は、各クラブのチラシ、ホームページ作成などの広報・PR費、指導者の謝礼金、会場使用料などに活用されています。これにより、各クラブの設立当初の財務基盤を強化し、安定的な運営体制の構築を図っています。	
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4: 高い 3: やや高い	3	設立クラブへの補助金による支援は今後、減少することが想定されます。また、定期的に活動内容を見直すなど、経済性や効率性を高めていく取組みが必要だと考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2: やや低い 1: 低い	4	誰もが気軽に楽しめる環境づくりを推進するためには、総合型地域スポーツクラブは大きな役割を果たすことが期待されます。クラブの会員数を増やすには継続的な取組みが必要であると考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	3	3	次期スポーツ振興計画(平成23年度から10年間)においても、総合型地域スポーツクラブの支援は重点施策に掲げられる予定であり、市が積極的に関与することが適当と考えられます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	本事業は施策に対する有効性も高く、「誰もが気軽に楽しめる環境づくり」を推進していくうえで重要な事業であると考えています。今後も目標の達成に向けて着実な取組みを進めていくことが適当だと考えます。	